

1 お堀端コース 大手町ー神田小川町 6.4km

いまもむかしも、かわらず江戸・東京の中心地

とく
徳
がわいやす

川家康入城以来、江戸城を中心に渦巻き状に堀をめぐらし、縦横に水路を確保し、放射線状に街道を整備し、外へ外へと発展していった江戸の町。数百年の時を経て街の様相はかわっても、道筋はほぼそのままである。

▶ 大手町から皇居外苑を通り桜田門に出て、内堀沿いに九段まで歩き、靖国通りをまっすぐ小川町まで抜けるこのコースは、丸の内今昔散歩、三宅坂・千鳥ヶ淵散歩、神田本屋街散歩の3つの散歩道からなっている。日ごとに変貌していく現在の東京でも、皇居周辺はもっともよくむかしの面影をのこしているといえるだろう。現存する石垣や城門に、あるいは古い建物に、往時をしのびつつ歩いてみよう。



※掲載内容は平成8年3月時点のものです。

1-a 丸の内今昔散歩 大手町—桜田門 2.4km



※掲載内容は平成8年3月時点のものです。

1-b 三宅坂・千鳥ヶ淵散歩 桜田門—靖国神社 2.3km



※掲載内容は平成8年3月時点のものです。

1-c 神田本屋街散歩 靖国神社—神田小川町 1.7km



※掲載内容は平成8年3月時点のものです。